

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	31人

1. 使用状況

寄贈物品名	ボッチャ
使用学年及び人数	中学部1年生～高等部3年生 9名
使用頻度	体育の授業にて使用
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中学部、高等部の体育の授業(50分)で使用した。 ・4人ずつの2グループに分かれて練習をしたり、対戦したりする活動を行った。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや投球のポイントについては、ボッチャの指導経験のある教員の手本を見たり、実際に練習を積み重ねたりすることで、ルールを理解して競技に取り組むことができた。 ・対戦では、チーム内で「あそこを狙った方が良いよ。」「次はどこに投げれば良いかな？」などの話し合いが活発に行われた。 ・車椅子に乗った状態での投球を体験することで、立った状態と車椅子に乗った状態での投球の違いに気付くことができた。
今後の活用の見通しや課題	3学期に中学部高等部の体育でボッチャを単元に授業を実施します。パラスポーツに触れる機会を増やししながら、生涯スポーツに繋げていければと思っています。
その他希望や所感など	投げる順番を考えたり、作戦を決めたりする場面を増やすことで、コミュニケーション力の向上に繋がる活動になるので、今後も体育の授業だけではなく取り入れていきたい。

2. 活用の様子

活動に入る前に生徒に対して説明した。
ボッチャの経験がある生徒が半数いたが、
視覚的に資料を提示して確認した。

その後、2チーム分かれて対戦した。

-生徒の感想-

- ・久しぶりにボッチャをしたが、ルールや投げ方のポイントを覚えていて、楽しく活動することができた。
- ・チームで協力して、勝つことができてうれしかった。
- ・相手チームのボールの位置や、その後の展開を考えて投げることができた。

